

# SCHEDULE

東京都写真美術館展覧会スケジュール

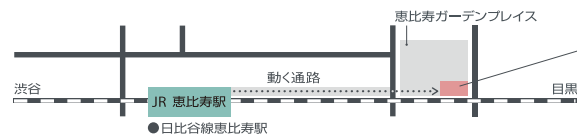
2013	3階展示室	2階展示室	地下1階展示室	1階ホール
6	 1 「写真のエステ」五つのエレメント 5月11日(土)～7月7日(日)	 日本写真の1968 5月11日(土)～7月15日(月・祝)	 世界報道写真展2013 6月8日(土)～8月4日(日)	最新の情報は ホームページを ご覧ください。
7				
8	 「写真のエステ」 写真作品のつくりかた 7月13日(土)～9月16日(月・祝)	 米田知子 暗なところで逢えれば 7月20日(土)～9月23日(月・祝)	 岩合光昭写真展 ネコライオン 8月10日(土)～10月20日(日)	 『結婚って、幸せですか THE MOVIE』 8月頃～
9				
10	 2 「写真のエステ」 コスモス 写された自然の形象(仮称) 9月21日(土)～11月17日(日)	 須田一政 9月28日(土)～12月1日(日)	写真新世紀東京展2013 10月26日(土)～11月17日(日)	
11				
12	 3 植田正治と ジャック=アンリ・ラルティエグ 11月23日(土・祝)～1月26日(日)	日本の新進作家vol.12 路上から世界を変えていく 12月7日(土)～1月26日(日)	第14回 上野彦馬賞 11月23日(土・祝)～12月1日(日)	
2014				
1			映像展 高谷史郎 12月10日(火)～1月26日(日)	※スケジュール・展覧会タイトル 等は予告なく変更される場合 があります。最新の情報は ホームページをご覧ください。

## ご利用案内

- 休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日～2014年1月1日)
- 開館時間：10:00～18:00(木・金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで

## 割引チケットの販売

3展示をすべて鑑賞できる「セット券」、2展示を選べる「チョイス券」を販売しております。  
詳しくはチケット売り場でおたずねください。



## 東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3  
恵比寿ガーデンプレイス内 Tel.03-3280-0099  
<http://www.syabi.com>

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分※当館には専用駐車場はありません。恵比寿ガーデンプレイスの駐車場を御利用ください。

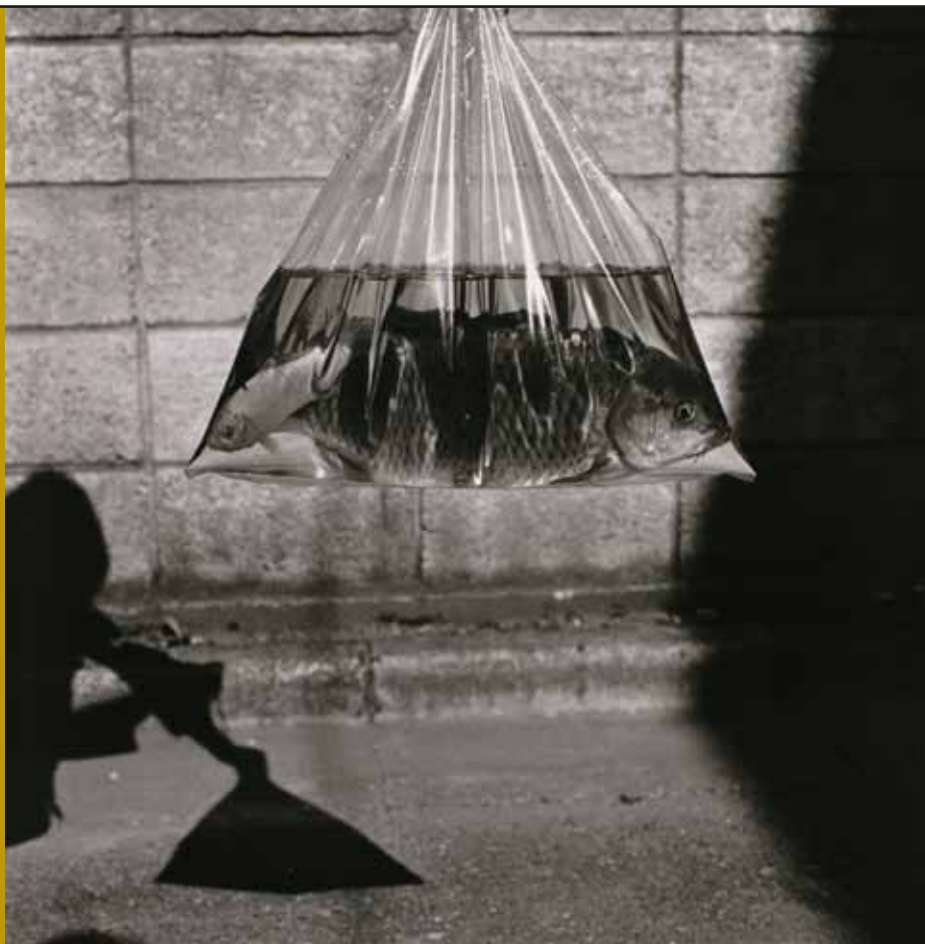
※本誌編集ページに掲載されている観覧料および商品の価格は、原則として消費税込みの価格です。

東京都写真美術館ニュース「アイズ13」78号 ●発行日：2013年6月7日 / 企画・編集：東京都写真美術館事業企画課 普及係  
●印刷・製本：JTB印刷株式会社 ●発行：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 ©2013 ●本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。



**eyes**  
| 2013 Vol.178 |

TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY  
NEWS MAGAZINE



上:〈物草拾遺〉より 文京区本郷、1981年 表紙:〈物草拾遺〉より 静岡・湯ヶ野、1981年

平成25年度収蔵展(新規重点収集作家個展)

# 須田 一政

SUDA ISSEI

須田一政の写真を見ると、自分たちの生きる日常の中に、こんなに強烈な情景があったのかと驚かされずにはられない。私たちが見えていないもの、見過ごしているものは無数にあり、それをシャッターにとらえて、そして、独自の写真世界に焼き付けるのだ。9月に開催される個展で代表作とともに最新作も出展する予定という須田に、その写真人生や制作の原動力についてお話を伺った。

須田さんはこれまで、1976年に日本写真協会新人賞を受賞された「風姿花伝」や、1983年に日本写真協会年度賞を受賞された「物草拾遺」など、インパクトのある作品を数多く発表されてきていますが、ご自身の作品に対する評論で、それは全然違うと感じることはありますか？

「それは、たえず感じていますよ(笑)。評論とかそういうものには、からめとられたらダメだと思っているんです。ある一定の評価が定まってしまうと、この人はこういう人だとか、作風はこうであると言われちゃうと、自分自身に興味がなくなっちゃうんですよ。これから何を撮っても、そういうふうには見られないんだなと思ったら、被写体やテーマに対するときめきがなくなってしまうじゃないですか」

では、須田作品を語る時にはよく“日常に潜む闇”や“妖しさ”、もしくは“ハレとケ”といった言葉が使われますが、これにも違和感を感じてしまう？

「それよりも、自分としては、物ってちょっと角度が違うとこんなに面白見えるのかとか、こんなにぎょっとするような表面に写ってしまうのかといったことに、いつも驚きながら写真を撮ってきましたし、その結果として自分の作品が出来上がってきたと言ったほうが、しっくりきますね。そういう面白さを探して行くことにはいつも興味があったし、それなりに努力もしました。いや、努力はしていないかな(笑)」



「風姿花伝」より 秋田・西馬音内、1976年



〈東京景〉より、1975-78年

そういった、物の見方、撮り方といった部分で、影響を受けた方はいるのですか？

「僕は撮るよりも見るほうから写真に入ったくちで、若い頃はウィリアム・クラインやリチャード・アベドン、アービング・ペンの写真集を、洋書屋に通ってはよく眺めてましたね。」

中でもアービング・ペンが僕は大好きなんだけど、自分で写真を撮るようになってから、同じように自分も撮ってみようと思立ちましてね。ペンの写真集の中にフランスパンとか冷凍食品を配置して撮った静物写真があって、それだったら自分でも発想しやすいと思ってやってみただけど、実際に撮ってみたら、構成力も違うし、色の発色も違うし、真似てみたところで似て非なるもので、本物との違いを思い知らされましたね」

今からちょうど50年前、雑誌『日本カメラ』の誌上コンテストで、デビュー作とも言える『恐山』が年度賞を受賞されていますが、やはりこれが本格的に写真の道に進むきっかけとなったのでしょうか？

「気持ちにはずみがついたというのはありましたね。自分の興味のおもむくままに写真を撮っても良いんだと、自信を持つことができたと思います」

この「恐山」は、霊場恐山への旅を記録したものでしたが、旅はその後、作品作りにおいて重要な契機になっていますね。

「その年度賞を受賞したのは23歳の時でしたが、その頃に参加していたアマチュア写真グループでの経験



〈恐山へ〉より、1970-80年代

が、自分にとってはとても貴重なものだったと思います。

そのグループは、ぞんねぐるっべという僕も通っていた東京総合写真専門学校の一学期が立ち上げた会で、自宅そばの神保町にあったんです。主催者がDP屋を営んでいて、写真集が沢山おいてあったんですが、それが見たくてそのDP屋の前を行ったり来たりしていたら、ゆっくり椅子に座って見たらいいじゃないと声をかけてくださって、写真が好きなの？なんて言われてね。好きですって言ったら、この二階で写真の会をやっているからと見学に誘ってもらったのが、参加したきっかけなんです。あの頃、濱谷浩さんの写真集『裏日本』が写真を志す人のバイブルになっていて、今でも僕が北のほうに足がむいちゃうのもその影響が大きいんですが、その会でも、みんなで雪国の写真を撮る旅に出かけたわけです。でも、写真を撮ることだけにきゅうきゅうとするのではなくて、例えば雪の中で、バーナーでコーヒーを淹れて飲んだりしてね。それがまた楽しいんですよ。専門学校ではテクニカルなことを学びましたが、この会では、そういう旅心というものを教わったと思います。写真も楽しいし、旅も楽しい、そんな風にして、写真の魅力にとりつかれていったんですよ」

**1967年から71年まで、前衛劇団の天井桟敷で専属カメラマンをされていましたね。**

「主宰の寺山修司さんが書く戯曲が好きだったんですよ。それで、スタッフ募集の広告を見て、写真の記録係として入れてもらえないかと思って応募したんです。まだ劇団が旗揚げしたばかりの時、10代の少年少女が寺山さんの家に寝泊まりしながら舞台稽古しているんですが、その熱気たるや、すごかったですね。それに、横尾忠則さんや宇野亜喜良さんが美術をやったり、コシノジュンコさんが衣装をやったり、錚々たる才能が寺

山さんを取り囲んでましたね。僕はただ単にくっついていただけなんですけど、その現場にいられたということは、とても貴重な経験だったとしみじみ思いますね。アマチュアのぞんねぐるっべでは旅の仕方を教わったわけですけども、天井桟敷ではパッションみたいなものの、一つのものに盲目的に向かうときの熱気を学んだと思います」

**最新作ではマネキンを被写体にされているとうかがいしました。**

「マネキンを見ていると、囚われ人というイメージがわいてきてね。マネキンの足は単に機能として立たせるためにあるわけで、そこに留め金がついていたりするんですが、ひょっとしたら、こういうところに純粋なエロスがあるんじゃないかと思うんですよ。早朝の誰もいない時間を狙って、銀座のショーウィンドウを撮影しているんですけど、僕は日中シンクロといって、昼間でもストロボをたくんです。普通はトーンが白っぽく飛んじやうんですが、それを無理に焼き込むと、写真の画がヌラッと出てきて、その質感がなんとも言えなく良い。そんな出来上がりの画像を想像すると、それだけでドキドキしてきちゃってね。こういうドキドキ感に突き動かされながら、今も写真を撮ってますね」

インタビュー：丹羽晴美（東京都写真美術館 学芸員）  
構成：富田秋子



〈東京景〉より、1975-78年



〈紅い花〉より、1968-70年代



〈紅い花〉より、1968-70年代

2F

2階展示室 Exhibition Gallery

友の会無料 | 三越カード割引 | アトレビューSuicaカード割引

9月28日(土) → 12月1日(日)

平成25年度収蔵展(新規重点収集作家個展)

**須田 一政 Suda Issei**

□ 一般 600(480)円 □ 学生 500(400)円 □ 中高生・65歳以上 400(320)円

( )は20名以上の団体、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

□ 主催：東京都 東京都写真美術館／産経新聞社 □ 後援：サンケイスポーツ／タ刊フジ／フジサンケイビジネスアイ／iza!／SANKEI EXPRESS □ 協力：富士フィルムイメージングシステムズ株式会社 他

日常の裂け目から覗ける非日常の瞬間に着目した作品で海外でも高い評価を得ている須田一政の個展を開催します。1940年、東京神田に生まれた須田は洒脱な視点と卓越した技術で人間、生活、街などの本質をあぶり出すような写真群を発表しました。

東京都写真美術館では新規重点収集作家と

して須田一政の「風姿花伝」「物草拾遺」「東京景」などのシリーズを中心に収集を重ねてきました。本展覧会は、これらのシリーズに初期作品と最新作を加え構成します。今はなき風景、人物像や昭和から現在へと継続される日本の風俗を、須田の銀塩写真ならではの精緻なプリント表現から探ります。

☒ 担当学芸員によるフロアレクチャー 第1・3金曜日 14:00～  
※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。

☒ 展覧会関連イベント  
※詳細につきましては決定次第ホームページでお知らせします。

2F

2階展示室 Exhibition Gallery

友の会無料 三越カード割引 アトレビュー-Suicaカード割引

5月11日(土) → 7月15日(月・祝)

## 日本写真の1968 1968 - JAPANESE PHOTOGRAPHY

一般 600(480)円  学生 500(400)円  中高生・65歳以上 400(320)円

( )は20名以上の団体、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

主催：東京都 東京都写真美術館

1960年代後半は、戦争や革命をはじめ、世界中のあらゆる領域でこれまでの枠組みに対して根源的な問いかけと異議申し立てが行われました。写真においても、近代写真が構築した「写真」の独自性とそれを正当化する「写真史」への問いかけが始まりました。本展では、「1968年」を中心にして、1966～74年の間で、日本で「写真」という枠組みがどのように変容していったかをたどります。



東松照明 波照間島「太陽の鉛筆」より 1971年

※担当学芸員によるフロアレクチャー 第2・4金曜日 16:00～  
※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。

B1F

地下1階展示室 Exhibition Gallery

友の会割引 三越カード割引 アトレビュー-Suicaカード割引

6月8日(土) → 8月4日(日)

## 世界報道写真展2013

一般 700(560)円  学生 600(480)円  中高生・65歳以上 400(320)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

主催：世界報道写真財団／朝日新聞社  共催：東京都写真美術館  後援：オランダ王国大使館  
公益社団法人日本写真協会／公益社団法人日本写真家協会  協賛：キャノンマーケティングジャパン株式会社

第一線で活躍するドキュメンタリー写真家、報道カメラマンたちは今年も勇気と行動力のためのものである作品を発表しました。10万点を超える応募作の中から厳選された展示作品は、私たちに「世界の今」を知り、考えるきっかけを与えてくれます。パレスチナ自治区ガザ、シリア、スーダンでは人間同士の憎しみ合いと殺戮が続いています。日本でも未曾有の震災と津波による被災から2年の歳月が

流れたものの、希望を帯びた社会を再構築するのは容易ではありません。会場ではそれぞれの物語にあふれる約160点を展示します。

ダニエル・ペレフラク(オーストラリア)  
Getty イメージズ「一般ニュース」の部  
組写真3位「津波の爪痕」



### ※第6回 写実フォトドキュメンタリー・ワークショップ

フォトドキュメンタリー、フォトジャーナリズムの現場を学ぶワークショップです。プロのフォトジャーナリストを目指す方はぜひご参加ください。

□日時：2013年7月13日(土)、14日(日)、15日(月・祝)の3日間連続

□講師：Q.サカマキ(写真家、WPP07受賞者、NY在住)、  
外山俊樹([「アエラ」]フォトディレクター)

□会場：東京都写真美術館1階 アトリエ(創作室)ほか

□定員：20名 ※お申込み多数の場合は応募動機にて選考。

□参加費：20,000円 □申込締切：6月21日(金)必着

□申込時に応募動機(400字以内)が必要です。

□申込方法の詳細：http://syabi.com/contents/workshop/

### ※フォトドキュメンタリー・ワークショップ 公開レビュー

□2013年7月15日(月・祝) 15:00～18:00

講師Q.サカマキ氏の作品とワークショップ参加者の成果物の公開レビューです。

□定員：約50名(当日先着順・自由席)

□対象：世界報道写真展2013のチケットをお持ちの方

## 写真賞受賞のご報告

昨年(平成24年)度、当館が開催した展覧会や写真家の活動が、さまざまな写真賞を受賞しました。

### 北井 一夫

日本写真協会作家賞  
<http://www.psj.or.jp/psjaward/>

日本国内で、優れた写真作品を近年継続して発表し、写真界に多大な影響を及ぼした個人が対象。当館では、初の美術館個展「北井一夫 いつか見た風景」(2012年11月24日～2013年1月27日)を開催しました。



北井一夫氏「北井一夫 いつか見た風景」展 プレシギャラリートツアーより

### 川内倫子「川内倫子展 照度 あめつち 影を見る」

第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞  
[http://www.bunka.go.jp/geijutsu\\_bunka/01geijutsuka/index.html](http://www.bunka.go.jp/geijutsu_bunka/01geijutsuka/index.html)

芸術の11分野において、その年に優れた業績をあげ、新生面を開いた人が対象。受賞理由の中で、個展「川内倫子展 照度 あめつち 影を見る」(2012年5月12日～7月16日)は、日本人の持つ美意識や宗教的な感情を宇宙的な広がりの中で再構築するかのようなスケールの大きな表現が展開された、と評されました。



第29回東川賞国内作家賞  
<http://www.photo-town.jp/>

写真文化への貢献と育成、東川町民の文化意識の醸成と高揚を目的とし、これからの時代をつくる優れた写真作品(作家)に対し、毎年、東川町より贈られます。

「川内倫子展 照度 あめつち 影を見る」展示風景より

### 菊地智子「I and I」

第38回木村伊兵衛写真賞

木村伊兵衛(1901～74年)の業績を記念し朝日新聞社が創設した写真賞。新人を対象に贈られます。当館の「日本の新進作家vol.11 この世界とわたしのどこか」展(2012年12月8日～2013年1月27日)で「I and I」が日本初展示されました。



菊地智子「I and I」より「鏡の中のグイメイ、重慶」2011年 東京都写真美術館蔵



「Scene」より 野球場—終戦直前まで続けられた特攻出撃の基地の後/知覧 2000年 IZU PHOTO MUSEUM蔵



「積雲」より 白い鳩・終戦記念日・靖国神社 2011年 東京都写真美術館蔵

**YONEDA TOMOKO**

《米田知子 略歴》

- 1991年 ロイヤル・カレッジ・オブ・アート(ロンドン)修士課程修了
- 2001年 「手探りのキッス 日本の現代写真」 東京都写真美術館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
- 2005年 個展「記憶と不確実さの彼方」 資生堂ギャラリー/東京
- 2007年 第52回ヴィネチア・ビエンナーレ(イタリア館およびアルセナーレ)
- 2008年 個展「米田知子展—終わりは始まり」原美術館/東京 第13回アジア・アート・ビエンナーレ・バン格拉デシュ 2008
- 2012年 キエフ・ビエンナーレ

Courtesy of Sungo Arts



「Japanese House」より 蒋介石政権時代の参謀総長であった王叔銘將軍の家(齊東街・台北)I 2010年 作家蔵



「Between visible and invisible」より 谷崎潤一郎の眼鏡—松子夫人への手紙を見る 1999年 東京都写真美術館蔵



「サハリン島」より 帝政ロシア時代、囚人が掘ったトンネルの入り口近く、“3人兄弟の岩”をながめて2012年 作家蔵

「サハリン島」より 北緯50度、旧国境 2012年 作家蔵



# 米田 知子

*'We shall meet in the place where there is no darkness'*

やみ  
暗なきところで逢えれば

2階展示室 7月20日(土) - 9月23日(月・祝)

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレビューSuicaカード割引

一般 700(560)円 / 学生 600(480)円 / 中高生・65歳以上 500(400)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会 □助成:芸術文化振興基金 □特別協賛:株式会社資生堂 / 富士フィルムイメージングシステムズ株式会社 □協賛:ライオン株式会社 / 清水建設株式会社 / 大日本印刷株式会社 / 株式会社損保ジャパン / 日本テレビ放送網 / 東京都写真美術館支援会員ほか □協力:株式会社写真弘社 / 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

日本を代表する写真家の一人である米田知子の個展を開催します。米田の作品は“記録”という写真の根本的な役割をベースにしながら、現実に見えているものだけではなく、そこにある記憶や歴史を背景に投影しています。初展示となる「サハリン島」や映像作品、そして近年の代表作より、日本や世界の近代化における記憶や歴史をテーマに構成しました。いま存在する風景や建物に、過去にどのような出来事が起こったのか。写真を見る側はその事実を知った途端に、見えているイメージが別のものに見えてくる錯覚を覚えます。米田の作品は写真というメディアの持つ特質を最大限に生かしながら、鑑賞する側に見えているものの本質を、あらためて問いかけています。

## 》出品予定作品シリーズ

Between visible and invisible, kimusa, Japanese House, パラレル・ライフ、Scene、積雲、サハリン島

担当学芸員によるフロアレクチャー 第1・3金曜日 14:00~ ※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。

## 》展覧会関連イベント 2階ラウンジ

対談1 □日時:7月20日(土) 15:00~16:30 □出演:片岡 真美(森美術館 チーフ・キュレーター)×米田 知子(出品作家)

対談2 □日時:7月27日(土) 15:00~16:30 □出演:半藤 一利(小説家)×米田 知子(出品作家) 1、2とも、本展覧会の半券をお持ちの方に当日10時より整理券配布。番号順入場、自由席。

※最新情報はホームページでご確認ください。

# 「写真のエステ 写真作品のつくりかた」

The Aesthetics of Photography The Making of Photographic works

3階展示室 7月13日(土) - 9月16日(月・祝)

平成25年度のコレクション展は、写真の美しさはどこにある?をテーマに、3期にわたって珠玉の名作をご紹介します。「エステ」とは「aesthetics(エステティクス)」の略語で「美学」を意味します。2期目となる「写真のエステ 写真作品のつくりかた」では、①アングル ②焦点 ③光のあつかい ④暗室作業という写真を構成する4つ

の要素に着目して、写真の美しさが何によって作られているのかを考えます。学芸員が考える美しさのポイントから、写真表現の多様性や奥深さを感じることができるでしょう。写真上達のヒントが満載の本展は、夏休みの鑑賞にもぴったりです。

## 1.アングル

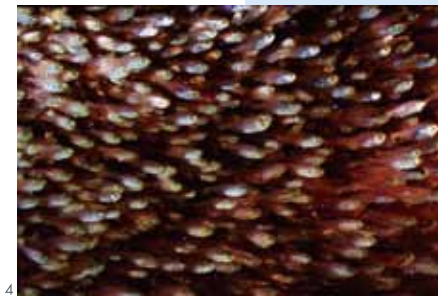
植田正治(作品1)は、被写体を高いアングルから捉えることで、傘の大きさとこどもの小ささを対比させ、幼さや愛らしさを引き立てている。



## 2.焦点



中村征夫(作品4)は、パンフォーカスによって焦点を近距離から遠距離まで合わせることで、平面的な画面をつくり、魚群の量塊感を際立たせている。



## 3.光のあつかい



奈良原一高(作品6)は、強い日差しによって生まれた影を画面に効果的に取り入れている。光は影をあつかうことでもある。

## 4.暗室作業



マン・レイ(作品8)が暗室作業中の失敗で生まれた「ソラリゼーション」。過度な露出でネガ・ポジが反転し、超現実的な雰囲気を生み出している。

友の会無料 | 三越カード割引 | アトレビューSuicaカード割引  
一般 500 (400) 円 / 学生 400 (320) 円 /  
中高生・65歳以上 250 (200) 円

( )は20名以上の団体、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

□主催:東京都 東京都写真美術館

※担当学芸員によるフロアレクチャー 第2・4金曜日 14:00~  
※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。

- 1) 植田正治 題不詳 1955-65年頃
- 2) 北島敬三 ニューヨーク #229 1981-88年
- 3) クラレンス・ホワイト 雨のしずく 1908年
- 4) 中村征夫 《日本列島海中百景》より キンメモドキ 1998年
- 5) 吉崎一人 嬉戯其二 1938-41年
- 6) 奈良原一高 静止した時間 #95 1964年
- 7) W.ユージン・スミス 《日本…イメージの一章》より 無題 1961-62年
- 8) マン・レイ 眠るモデル 1929年

### ※ ゲストと学芸員によるトークセッション

□開催日:7月27日(土) ゲスト:未定  
8月3日(土) ゲスト:北島敬三(写真家)

### ※ ソラリゼーション ワークショップ

□開催日:8月17日(土)、18日(日)  
詳細につきましては決定次第ホームページでお知らせします。

### » 開催中のコレクション展

「写真のエステ - 五つのエレメント」

7月7日(日)まで開催中

「光」「反映」「表層」「喪失感」「参照」という5つのエレメントを手がかりに、19世紀の初期写真から現代写真まで、美をめぐめる数々の表現を紹介します。

### » これから開催予定のコレクション展

「写真のエステ - コスモス 写された自然の形象」(仮称)

9月21日(土) - 11月17日(日)

中国の古い思想「木・火・土・金・水」に基づき作品を紹介。写された自然そのものの美しさのみならず、そこに込められた隠喩、作家の意図や心性など、背後にあるメッセージを読み解きます。



世界を舞台に活躍する動物写真家・岩合光昭。地球上のあらゆる地域をフィールドに大自然と野生動物を撮り続ける一方、私たちの身近に暮らすイヌやネコの撮影も継続し、多くの人々を魅了しています。岩合の取材対象の中でも、とりわけ多くの時間を割いて撮影を継続しているのがネコとライオンです。岩合はこう話します。「ネコは小さなライオンだ。ライオンは大きなネコだ。」私たち人間の生活に溶け込むように暮らすネコ。一方で百獣の王と呼ばれ、人間の生活から遠い野生の世界に生きるライオン。彼らは同じネコ科でありながら、大きさも、生活も異なります。それでもやはりどこか似ているのです。写真展「ネコライオン」では、岩合光昭が捉えた人間と共生するネコ、野生に生きるライオンを約180点の作品で展覧いたします。彼らの共通点や差異を感じることで、私たち人間がどこかに忘れてきてしまった“野生”を浮き彫りにしていきます。似ているようで似ていない。そして、似ていないようで似ている。「ネコライオン」の摩訶不思議な世界を、是非ご体感ください。

岩合光昭 写真展

# ネコライオン

地下1階展示室 8月10日(土) - 10月20日(日)

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレビューSuicaカード割引

一般 800 (640) 円 / 学生 700 (560) 円 / 中高生・65歳以上 600 (480) 円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料



□主催：クレヴィス □共催：東京都写真美術館

- 1) 宮城県 石巻市 2) タンザニア ンゴロンゴロ自然保護区  
3) 広島県 庄原市 4) タンザニア ンゴロンゴロ自然保護区  
5) 石川県 金沢市 6) タンザニア セレンゲティ国立公園  
(上記はすべて参考図版です)

✖ 展覧会関連イベント

8月10日(土)、17日(土)に作家によるアーティストトークを行います。9月、10月にも開催予定です。 ※詳細につきましては決定次第ホームページでお知らせします。

◎お問い合わせ ☎ クレヴィス 03-6427-2806

Film

『結婚って、幸せですか THE MOVIE』

幸せになりたい女性必見! 自分が決めた道を後悔しない、幸せのヒントがここにある。台湾ドラマ『結婚って、幸せですか』のキャストがスクリーンに登場! アンジェンが最後に選ぶのは誰なのか。

離婚して4年、良き母、良き上司として充実した生活を送るシエ・アンジェンは、今の生活に満足していることを理由にティエンウェイとは「友達関係」を続けていた。彼の愛を受け入れるべきか悩んでいたとき、元夫ルイファンのアプローチが…。情と愛、安らぎと喜び、慣れと変化の間で、彼女が「良き恋人」として選ぶのは?



© C.I. Film Pictures Co., Ltd. 尾川映画股份有限公司

コミックリス株式会社  
03-5524-8035(代表)

○上映スケジュール: 2013年8月頃～  
○休映日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)  
○上映時間: 未定

○料金: [当日券] 未定  
【映画公式ホームページ】<http://wfive.tv/movie/>  
※上映スケジュール等、決定次第ホームページにてお知らせ致します。

1F ミュージアムショップ  
『ナディップ バイテン』  
「CAFÉ BIS」  
(カフェ・ビス)

【営業時間】  
◎ナディップ バイテン / 10:00-18:00  
(木・金は20:00、土は18:30)  
【お問い合わせ】Tel.03-3280-3279  
  
◎CAFÉ BIS / 11:00-18:00  
(ラストオーダー17:30)  
【お問い合わせ】Tel.03-6721-7474

付属のシートを重ねて左右に動かすと、絵が動いて見える仕掛け絵本です。贈り物にもどうぞ。

キネマトグラフィカ 1,260円(税込)



CAFÉ BISの代表的なケーキ。ポビークの食感が美味しいワウンドケーキ。コーヒーにも紅茶にも合います。

ポビークとクリームチーズのケーキ 380円(税込)



友の会 Support

展示会のご招待・割引、1階ホールの上映映画や関連施設の割引など特典を多数ご用意して、皆様のご入会をお待ちしております。

年会費

個人会員 2,000円  
家族会員(同伴者1名まで) 3,000円  
シルバー会員(65歳以上の方) 1,000円

※受付は当館1階チケットカウンター横の「友の会カウンター」のみとなっております。  
※会員証の有効期限は、入会から1年間(翌年同月末日まで)  
※詳細は当美術館までお問い合わせください。  
Tel.03-3280-0099(開館時間中)

友の会特典	特典内容
収蔵展・映像展	<b>無料</b> ※会期中はいつでもご覧いただけます ※家族会員の方は、同伴者1名まで無料
企画展・誘致展	<b>割引</b> ※ご利用いただけない場合もございます
ミュージアムショップ	<b>5%引き</b> ※一部商品は除きます
その他	※ニュース「eyes」送付 ※1階ホールの割引(上映作品により異なります) ※観覧ポイントをためて特典と交換 ※ロコス渋谷店で1,000円以上のお買上につき5%割引(洋書・洋雑誌)など(一部商品は除きます。) ※WINE MARKET PARTY恵比寿店でご購入金額から5%割引(一部商品は除きます、他の優待サービスとの併用不可)

支援会員 Corporate Members

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、次の企業・団体に支援会員としてご入会いただきました。

- 特別賛助会員 —
- キヤノン(株)
- (株)資生堂
- (株)ニコン
- 特別支援会員 —
- (株)キタムラ
- キヤノンマーケティングジャパン(株)
- 大日本印刷(株)
- 凸版印刷(株)
- 富士フイルム(株)
- (株)リコー
- 支援会員
- (株)I&S BBDO
- (株)AOI Pro.
- (株)アサツー ディ・ケイ
- 旭化成(株)
- 朝日新聞社
- (株)朝日新聞出版
- 朝日生命保険(相)
- アサヒグループホールディングス(株)
- 朝日放送(株)
- アスクール(株)
- (株)アートよみうり
- (株)アマナホールディングス
- (株)岩波書店
- (株)潮出版社
- 内田写真(株)
- (株)栄光社
- (株)エスジー
- (株)ADKアーツ
- NECディスプレイソリューションズ(株)
- (株)NHKアート
- NHK営業サービス(株)
- (株)NHKエデュケーション
- (株)NHKエンタープライズ
- (株)NHKグローバルメディアサービス
- (株)NHK出版
- (株)NHKビジネスクリエイト
- (株)NHKプロモーション
- (株)NHKメディアテクノロジー
- (株)NTTデータ
- (株)NTTドコモ
- NTT都市開発(株)
- エプソン販売(株)
- エルメス財団
- オリックス(株)
- オリパスタイメージング(株)
- (株)オンワードホールディングス
- 科研製菓(株)
- カンオ計算機(株)
- 鹿島建設(株)
- (株)角川グループホールディングス
- (株)カーレック(株)
- 神奈川新聞社
- カルピス(株)
- (株)キクチ科学研究所
- キックマン(株)
- (株)紀伊國屋書店
- ギャラリー小柳
- (株)キューンコミュニケーションズ
- 共同印刷(株)
- 一般社団法人共同通信社
- 協和発酵キリン(株)
- 興亜硝子(株)
- (株)弘垂社
- (株)廣済堂
- (株)講談社
- (株)光文社
- (株)国書刊行会
- (株)コスモインターナショナル
- アサヒグループホールディングス(株)
- 朝日放送(株)
- アスクール(株)
- (株)アートよみうり
- (株)アマナホールディングス
- (株)岩波書店
- (株)潮出版社
- 内田写真(株)
- (株)栄光社
- (株)エスジー
- (株)ADKアーツ
- NECディスプレイソリューションズ(株)
- (株)NHKアート
- NHK営業サービス(株)
- (株)NHKエデュケーション
- (株)NHKエンタープライズ
- (株)NHKグローバルメディアサービス
- (株)NHK出版
- (株)NHKビジネスクリエイト
- (株)NHKプロモーション
- (株)NHKメディアテクノロジー
- (株)NTTデータ
- (株)NTTドコモ
- NTT都市開発(株)
- エプソン販売(株)
- エルメス財団
- オリックス(株)
- オリパスタイメージング(株)
- (株)オンワードホールディングス
- 科研製菓(株)
- カンオ計算機(株)
- 鹿島建設(株)
- (株)角川グループホールディングス
- (株)青春出版社
- 積水ハウス(株)
- 全日本空輸(株)
- ソニー(株)
- 第一生命保険(株)
- 第一法規(株)
- (株)タイキ
- ダイキン工業(株)
- (株)ダイケングループ
- 大成建設(株)
- (有)タカ・イシイギャラリー
- 高砂熱学工業(株)
- (株)高島屋
- (株)宝島社
- (株)竹中工務店
- 玉川大学芸術学部
- (株)タムロン
- (株)丹青社
- (株)中央公論新社
- 中外製薬(株)
- (株)ツァイト・フォト
- 帝人(株)
- (株)ティービー・オー
- (株)TBSテレビ
- (株)テー・オー・ダブリュー
- デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)
- (株)テレビ朝日
- (株)テレビ東京
- 電源開発(株)
- (株)電通
- (株)電通テック
- 東亜建設工業(株)
- 東急建設(株)
- 東京海上日動火災保険(株)
- 東京急行電鉄(株)
- 東京工芸大学
- 東京新聞・中日新聞社
- (株)東京スタデオ
- 東京造形大学
- 東京総合写真専門学校
- 東京テアトル(株)
- 東京都競馬(株)
- (株)東京ドーム
- (株)東京ニュース通信社
- (株)東京美術倶楽部
- (学)専門学校 東京ビジュアルアーツ
- 東京メトロポリタンテレビジョン(株)
- (株)東芝
- 東宝(株)
- (株)東北新社
- (株)スリーポンド
- (株)生活の友社
- セイコーホールディングス(株)
- (株)徳間書店
- 戸田建設(株)
- (株)トータルプランニングオフィス
- トヨタ自動車(株)
- (株)トロンマネージメント
- (株)ニコイメーキングジャパン
- 日外アソシエーツ(株)
- 日油(株)
- 日活(株)
- (株)日経BP
- 日産自動車(株)
- (株)日本カメラ社
- 日本空港ビルデング(株)
- 日本経済新聞社
- 日本興亜損害保険(株)
- (株)日本広告社
- 公益社団法人日本広告写真家協会
- 日本コルマール(株)
- (株)日本色材工業研究所
- 日本写真印刷(株)
- 公益社団法人日本写真家協会
- 公益社団法人日本写真協会
- 日本写真芸術専門学校
- 一般社団法人日本写真家協会
- 一般社団法人日本写真文化協会
- 日本大学芸術学部
- 日本たばこ産業(株)
- 日本テレビ放送網(株)
- (株)ニッポン放送
- 日本ロレックス(株)
- (株)ニューアートディフェンション
- (株)博報堂
- (株)博報堂DYメディアパートナーズ
- (株)博報堂プロダクツ
- (株)バス・コミュニケーションズ
- (株)ハースト婦人画報社
- バナソニック(株)
- (株)バラゴン
- バリミキ
- びあ(株)
- ビービーメディア(株)
- 北海道写真の町東川町
- 東日本旅客鉄道(株)
- 光写真印刷(株)
- (株)美術出版社
- (株)日立製作所
- (株)日立物流
- (株)ビックカメラ
- (株)ビデオプロモーション
- ヒノキ新薬(株)
- (株)ピラミッドフィルム
- (株)ファーストリテイリング
- 富国生命保険(相)
- (株)フジテレビジョン
- 富士電機(株)
- (株)双葉社
- (株)プラザクリエイト
- (株)ブリヂストン
- (株)プリンスホテル
- (株)フレームマン
- (株)文化工房
- (株)文藝春秋
- (株)ベネッセホールディングス
- ベルボン(株)
- ベントックスリコーイメージング(株)
- 北海道新聞社
- (株)ホテルオークラ東京
- (株)堀内カラー
- 本田技研工業(株)
- 毎日新聞社
- (株)マガジンハウス
- マミヤ・デジタル・イメージング(株)
- 丸善(株)
- (株)マンダム
- 三井住友海上火災保険(株)
- 三井倉庫(株)
- 三井不動産(株)
- (株)三越
- 三菱地所(株)
- 三菱製紙(株)
- 三菱倉庫(株)
- 三菱電機(株)
- 三菱UFJ信託銀行(株)
- (株)ミルボン
- 武蔵大学
- 明治安田生命保険(相)
- 森ビル(株)
- モルガン・スタンレーMUFG証券(株)
- ヤマトロジスティクス(株)
- ユサコ(株)
- USACO CORPORATION
- 横河電機(株)
- (株)吉野工業所
- (株)ヨドバシカメラ
- 読売新聞社
- ライオン(株)
- ライカカメラジャパン(株)
- リジュモン ジャパン(株) モンブラン
- (株)良品計画
- (株)ロボット
- (株)ワコウ・ワークス・オブ・アート
- (株)ワコール
- (株)ワッツ オプトキー
- その他1法人

(株)=株式会社、(相)=相互会社、(有)=有限会社、(学)=学校法人

(平成25年5月現在・五十音順)